

掘削機『MPD-45R』開発について

当社は、特殊条件下（低空・狭隘）での場所打ち杭の築造工程を、1台で可能にする低空頭リバー
ス掘削機「MPD-45R」を開発致しました。

1. 開発経緯

従来の場所打ち杭工事（TBH 工法）では、口元管の設置は深礎工法にて設置する方法が一般的
であり、地下水位によっては薬液注入などの補助工法が必要でした。

今回開発した低空頭リバー
ス掘削機「MPD-45R」は、口元管の施工と場所打ち杭工事の一連の
作業工程を1台で施工することを実現しました。従来工法と比較すると、口元管設置工費を25%
削減し（直径φ2,000 長さ 5,000mm で試算）、また、移動式クレーンが設置不可能な、低空で狭
隘な現場に適しています。

2. 特長

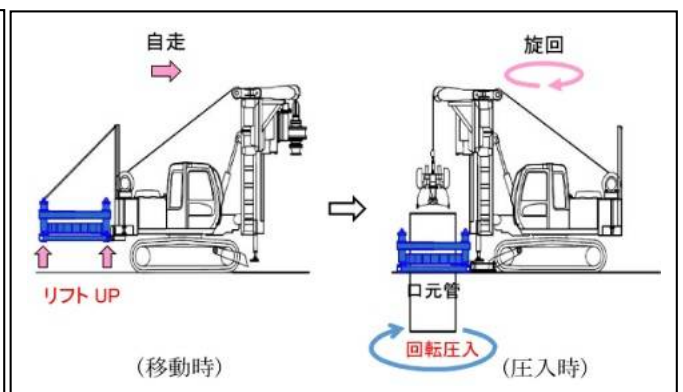
- ◇ 口元管の圧入・引抜を含む場所打ち杭築造工事を1台で実現
- ◇ 全旋回ジャッキを後方で抱えて、自走が可能
- ◇ 油圧バケットにて口元管内の土砂掘削が可能
- ◇ 口元管設置工費 25%削減
- ◇ 低空で狭隘な現場での施工が可能

3. 商品説明

低空頭リバー ス掘削機	重量：17.3t L6,470mm x W2,490mm x H4,715mm/4,180mm (1,500mm/1,000mm ロッド使用時)
全旋回ジャッキ	重量：5.2t W2,400 x D3,400mm x H1,150mm 口元管適用径最大 2,000mm



MPD-45R 全体写真



走行・据付イメージ図

4. お問い合わせ

成幸利根株式会社 技術開発部 北崎 誠 TEL 03-5645-3232

以上